

コロナ感染症対策に対応したうらしま研修の進め方

1. 体験セットの準備

- ① セットはひとり 1 セット利用(使いまわしはしない)するのが望ましいが、送料や準備の負担等難しい面があるため、なるべく1 グループを少人数にする。
- ② 汗による感染はないので、メガネ、ベスト、手足のサポーターと重りはグループで1 セットとし、使い捨ての耳栓とゴム手袋に加え、布手袋と手のひらサポーターは体験人数分用意する。

2. 運用方法

- ① 研修参加者はマスク着用
- ② インストラクターは(マスク着用して)フェイスシールド着用
- ③ 手指消毒液と除菌シートをグループごとに準備
- ④ ゴミ袋とビニール袋をグループごとに準備
- ⑤ 研修室のドアはできるだけ解放し、換気に努める
- ⑥ 体験小物は多く準備し、1 度体験に使用したものは、次の人は使わないくらいの目安で設営する
- ⑦ セット装着前に体験者と装着をする人(インストラクター)は手指の消毒を行う
- ⑧ 介助者役およびインストラクターは見守り介助に徹し、約 2mの間隔をとる
危険のある場合(段差、障害物など)は注意喚起を十分に行う
- ⑨ 体験後、セットを外す際には、体験者は体験中にいろいろな箇所を手で触れているため、手袋装着のまま装具にさわらないよう注意する
インストラクターは、布手袋の手首のところを持って、手のひらサポーターごとひっくりかえして脱がせ、すぐにビニール袋に入れる
ビニール手袋も同様に手首のところを持って、ひっくり返して脱がせてゴミ袋に入れる
- ⑩ メガネは除菌シートで拭く
- ⑪ ⑦に戻り、次の体験者に装着

3. 体験セットのメンテナンス

- ① 手袋と手のひらサポーターは、毎回界面活性剤で洗濯する。
- ② その他サポーターやメガネなどの部品も洗浄または除菌シートで拭くなどのメンテナンスをする。
- ③ ブルーの新しいタイプのつくし君膝サポーターは洗浄すると接着剤が剥がれやすい素材なので、洗濯は避け、除菌シートでサッと拭いて陰干しする。

※サポーター類は、素材によっては洗浄や溶剤で接着面が剥がれやすいものもあるので、取扱に不安のある場合は、うらしま研修担当までお問い合わせください。